

おトイレに何度も  
いくのは尿石症が  
原因かもしれません。



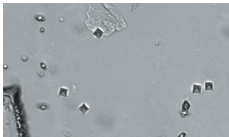
尿石の有無や尿路感染症を調べる検査をご紹介します。

# 尿石の種類や尿路感染症を調べる検査

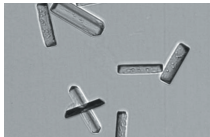
## 尿沈渣分析

### どんな検査ですか？

- 尿中に結晶、円柱、細菌、血球、細胞等が存在するかどうかを、顕微鏡で確認する検査です。その種類や量により、尿石症、尿路感染症、腎臓病、尿路系の腫瘍を診断する補助になります。尿石症にはX線等による画像検査が欠かせませんが、尿沈渣を分析することで、より詳細な情報を得ることができます。一般に他の尿検査と併せて実施します。



シュウ酸カルシウム結晶



ストルバイト結晶

## 尿はどうやってとるの？

- 病院で尿を採取する場合や家で採取して持参する場合があります。尿の採取方法にもいろいろあるので、獣医師の先生にご相談ください。

## 慢性腎臓病と診断されたら？

- ストレスの除去、飲水量の確保、結石を溶かすための食事療法などが一般的です。尿路を閉塞するような大きな結石の場合は外科的に取り除くこともあります。
- 細菌感染がある場合は、抗生物質による治療もおこないます。



## 尿石症ってどんな病気？

- 尿石症は腎臓、尿管、膀胱または尿道に結石ができるもので、比較的よく見られる疾患です。
- 血尿や頻尿、排尿時に痛がる、排尿困難などの症状で気づくこともあります。症状がなく検査で発見されることもあります。
- よくみられるのはシュウ酸カルシウム結石とストルバイト（リン酸アンモマグネシウム）結石で、原因は食事の内容、肥満、遺伝的素因、ストレス、尿路感染などと考えられています。
- 重度になると、排尿が困難だけでなく、結石が尿路に閉塞し急性腎障害の原因となることがあるため、適切な治療が必要です。